



港工同窓会 ニュース

第24号

令和7年12月20日発行

発行責任者 前田武男

『九十三歳・私の近況』

港工同窓会会長

港(全)3期電力科 前田 武男



なにかと落ち着かない昨今ですが、皆様には如何お過ごしですか。私は永年(40年)の持病不整脈が昨年12月の初めに悪化し、通常1分間60〜100回位の脈拍が150回前後と早くなり、あわてて近くの病院に駆けこみます。検査の結果、若い医師が「こりゃあ悪いね、手術しないと大変なことになるよ。そう16日に近親者同伴で来て下さい」とのこと。

私は持病の不整脈があり術中に不整脈の症状が発生し、命の危険があるため(当然カルテを見て承知のはず)全身麻酔がかげられませんが、その旨を話すと「いや大丈夫・大丈夫、手術しないと死んじゃうよ」。この病院はキックリ腰や胆石(たんせき)症などわずらったとき入院した病院で、以前は優秀な医者も在籍していたようですが、経営者が変わり、担当医がくるくる変わるとか評判があまりよろしく

ありません。

胆石をわすらったときなど治療に係わった医者とは別の医者から「一般生活には影響ないから」胆のうをとれとわとしつこく迫られました。担当もその医者になり退院出来ない状況となります。それならば「その筋(すじ)に訴(う)った」えること、手術同意書にサインしない「旨をその医者に告(つ)げます」。

「同意書」には前提として手術の結果、かえって悪い結果が生じた(失敗した)場合、また手術は病気を治すというメリットがある半面、体に傷を付ける行為でもあり、医者が十分に注意しても一定の確率で悪い結果(合併症など)が発生することがあります。

このような場合、医者や病院の責任を問うことはできません。例えば私の手術中に不整脈症が発生し、死亡しても医者や病院に責任を問うことはできないのです。そのような文言が「同意書・承認書」などにはかならず入っています。

そんなあぶない手術なんかできませんか!

現実には胆石除去手術後、7〜8年経過しましたが、その兆候(ちようこう)は、未(いま)だ現れておりません。

本題に戻ります。帰って長男に相談すると、長男も私と同じ不整脈で、お茶の水の順天堂大学附属病院で治療中とのことなので、病院を変更することにします。病院変更については色々トラブルでしたが信頼関係のない若い医者や病院は丁重におことわり致しました。

経過としては、12月16日朝から血液検査・心電図・心臓超音波・レントゲンなど諸々(もろもろ)の検査が夕方まであり、翌日、暫定的に薬を決めてもらいベッドが空くまで待機ということになります。

やがて病院からベッドが空いたとの連絡があり、無料の4人部屋をお願いしていたのですが、なんと1日4万円の個室。息子いわく「おやじ、生きてるうちじゃなきゃあさあ、金は使えねえよ!」と「まあいいか」と4人部屋が空くまでの約束でしたが結局12月20日から30日迄の11日間居座ることになります。そして血液検査など色々な検査が毎日に行われまして。各検査室への移動は専属の看護師付きの車椅子、しかし血管の細い私は採血には苦労しました。

同病院では大学教授がトップとなり、その下に若い医者が4人、専門の栄養士・看護師でチームを組

んでおり、毎日往診があります。そして薬も検査の結果により調整していただいております。そして浪院の日いつものように往診があり、チームトップの教授から「煙草を止めたいか、病状は驚異的に改善され安定しています。今後も煙草を止めるという条件付きですが、あなたの希望通り投薬のみの治療・通院でいこうとゆうのが結論です。今後はこのF君が担当しますので宜しくお願いいたします。

以前にも投稿しましたが、年々いた身に手術は相当な負担になると思われるからです。そして術後のリハビリは非常に酷(きび)しいものだと聞いています。

同窓会ニュース臨時号(平成22年10月発行)に加藤先生が投稿した「地獄からの脱出」のなかで手術やその後のリハビリが如何に過酷ですさまじいものであるかを赤裸裸(むきむき)に綴られています。

私のまわり(港工・大学・勤務先・近所など)だけでも知れませんが、加藤先生をはじめ十数人が手術後、数年で亡くなっています。しかし私達(わ)ららの年令ですと老衰(すい)やほかの病(やま)に倒れることもあります。

加藤先生は平成18(2006)

年10月(74才)に順天堂練馬分院で大腸癌の手術、20(2008)年11月(76才)の時に食道癌を宣告され、翌21年、順天堂本病院で2回目の手術をされています。

私は長男(国立の名古屋大学客員助教授)の紹介ですが、同じ順天堂本病院、ついでに加藤との縁(え)に「しーえんつながり」を感じます。

高橋光春先生は平成27(2015)年3月3日、加藤琢二先生は平成29(2017)年9月9日、高橋先生を追うように。高橋先生は亡くなってから10年、加藤先生は8年が過ぎ去りました。

早いもんですねー！
そんな加藤先生が同窓会ニュース12号(平成25年4月発行)に「同窓会の発展を願う」を投稿されています。現在のそのような状況では、とても無理だと考えておりますが、久保田初代会長(高輪工第1期卒)が母校20周年記念誌に「同窓会の発展」を投稿されています。この投稿については今回となく読みましたが、今回、改(あらた)めて読み返してみますと、久保田先輩が母校を卒業したのは昭和13(1938)年3月、19才とあります。

すすめれば昭和28(1953)年6月7日に開催された三校(高輪・麻布・渋谷)統合同窓会第一回創立総

会「港工高校同窓会」として発足した当時は34才、社会人としてはまだまだこれからという年代、そして会長としても未経験。私もそうでしたが学校を卒業すると就職・結婚・子育てなどが待っています。

私が会長をお引き受けしたのは、久保田先輩と同期(高輪1期卒)の幾本嘉男先生から「前田君、宜しくお願いするよ」、PTAや後援会(PTA・OB)でお世話になった高橋光春先生からは「PTA・後援会での手腕はみている。君なら出来る」、加藤琢二先生に至っては「前田、たのむー」のたった一言。

会長を拝命した平成元(1988)年、私は50才代後半現役バリバリでしたが、家庭事情や勤務先(会社)そして学校というそれぞれのシチュエーション(境遇・立場・状態・状況など)との狭間(はざま)に悩むことが多々ありました。久保田先輩やその他の理事の皆様方も同じ悩みがあったのではないかと拝察致します。

さて、皆様は「港工同窓会」のホームページを見たことはありませんか？ インターネットで「港工同窓会」で検索すると素晴らしいホームページが現れます。内容については「会則・歴史・想い出など」詳細については次回に投稿の予定「

です。そのなかで秀逸(しゅいつ)……他にぬきんですべれていゝ(な)のは第17期電子科卒・飯島進氏(セミプロ)に撮影していただいた定期総会や懇親会の動画集です。私も時折見るのですが、懐かしく涙(なみだ)がこぼれます。齢(い)のせいですがね！ 絵(画像)が動くということ、は、こんなにも人に感動を与えるものなのかと。飯島氏に感謝！感謝！感謝！です。

その外、同窓会ニュース創刊号は平成14(2002)年4月、わずか4頁でしたが発行され、それ以来毎年発行されています。その数は本号23回(令和6年4月)までと臨時号18回、合計41回も発行されました。

そのうち本号に23回、臨時号に5回、計28回私は投稿しております。また、平成31年(令和元年)より新年のご挨拶を毎年ホームページに投稿し、今年で8年目になります。また伝言板(ペーシ)に「会長のひとこと」「コーナーを開設していただき、折りにふれ感じたいことを投稿させていただいております。例えば「港工同窓会再興30周年記念懇親会会長挨拶(2018年6月)」「平昌(ピョンチャン)で開催された冬季五輪を題材にした『百花繚乱』や『年賀状におもっ』など」

それから解体前の校舎の懐かしい写真もあります。ぜひぜひ「ホームページ」を閲覧(えつらん)してみたい。但し、母校と関係ない企業が卒業生交流や同窓会情報とか中身の無いもので寄付のお願いなど胡散(うさん)臭(くさ)いプログラム、また、都立港工業高校(以降母校)定時制、同窓生14名とか同期会レベルのもの、そのほかに東京回想、消えた学校、母校(2004年他校と統合)とあるが、これは事実無根。我が母校は他校との統合などなく閉校となっております。

このプログラムには明治・高輪・大正・麻布・昭和・渋谷と書かれているところがあります。なんだか皆様にはわかりますか。それはそれぞれの学校の創立年度です。高輪工業は明治39(1906)年、麻布工業は大正12(1923)年、渋谷工業は昭和9(1934)年ということですが、その創立年度の違う三校が昭和21(1946)年4月1日実業学校の整備統合により第一本科(昼)第二本科(夜)を統合し、東京都立高輪工業学校として発足、同時に新制中学(一時的)となる分校を桜川小学校内に二年生4学級三年生7学級が設置され、本校は同月26日二部制にて授業開始、分校は5月25日から授業が開始さ

れます。校舎については、新校舎に決定した旧愛宕高等小学校に昭和22(1947)年4月25・26日に高輪北町(現高輪ゲートウェイ駅周辺)にあったそれはそれは2階建てのオンボロ旧校舎より机や椅子を新橋の新校舎まで長い列をつくり歩いて運んだことは、今でも鮮明におぼえています。しかし、校舎は戦時中、警防団(第二次大戦中、地域の消防や防空のため組織された団体)昭和14年設立(同22年廃止)本部などが使用していたため荒廃甚(はなはだ)しく、特に3階4教室は被爆し、天井には大きな穴があき、壁も黒く煤(すす)すけ、窓ガラスはすべて破損、しかも2階には第三国人経営の新聞社が入居、なんとなく不気味(ぶきみ)……正体が知れず、気味が悪い)そして学制改革により新制中学校として発足した区立港中学校(1・2・3年各2学級・計6学級)は2階普通教室6室と特別教室1室、それになぜか大職員室を専用していました。

移転当初の我が校の学級数は4年生6学級、5年生6学級、そのため二部制授業をとらざるを得なかったと思われま。【棚橋茂男先生監修、20年のあゆみ(20周年記念誌)】

私も本校に初めて入った時、最初に目に入ったのは窓ガラスが水あめのようにたれ下り、窓わくは赤くサビ、天井には大きな穴があき天気の良い日は青空がみえ、教室内は惨憺(さんたん)さんたん……見るに耐えない)たる有様(ありさま)。正直とんでもないところに来たもんだと思いましたが、とりあえず我々は桜川小学校内の分校でしたので一安心。

しかし、この分校通いが私や子供(こども)の人生！そして母校や同窓会に大きく・深く係(かか)るることになります。その話は後(のち)ほど。

さて、再興以前の同窓会について少し興味(きょうみ)があったので調べてみました。

母校が開校してから6年目の昭和27(1952)年11月22日、同窓会三校統合打合せ会が開催され、翌28年6月7日「統合同窓会第一回創立総会」において「港工同窓会」として正式発足となります。

「港工同窓会」の骨子(こっこ)は「港工校が新しく発足に際して、それぞれの三つの母校が発展的に解消し、整理統合したのであるから、当然現在の港工校が母校であるべきであろう」との結論に達し、高輪と麻布・渋谷とその創立時代

の工業補修夜学までさかのぼり、今までの卒業生全部を港工校の同窓生として包含(ふくむ)していくことになったわけだ。麻布工第一卒・山下陽康氏(港工高20周年記念誌より抜粋)。その後は毎年6月に総会開催とし、昭和29・31年迄(2・3・4回)と開催し、なぜか昭和32・33年は総会が開催されておりません。理由については高橋・加藤両先生が亡(な)き今、わかりません。そして昭和34年・37年の間、5・6・7・8回の総会が開催され、20名前後(のち)が出席、第8回の最後の総会には300名ほどが出席したと聞いております。先輩方の同窓会に対する熱い想いが感じられ、うらやましい限りです。その後、諸般の事情で活動停止状態になっていたようです。

最近の同窓会は平成元(1988)9年の再建総会こそ100人超の出席がありました。その後は50人前後。「コロナ」のため令和2(2020)年より総会を休止し、昨年久し振りに総会を開催しました。ですが、出席はたった2人。これが現状の同窓会です。

私も今年93才、同窓会を文(ぶん)さ(さ)えていたでいては皆様も若(わか)い年齢で外出困難。そして現代の若い同窓生は、仕事や生活に追われて

同窓会など眼中に入らないのかも知れませんが。

さてさて、私的なことになりませんが私は昭和31(1956)年大学を卒業し、友人の会社など2、3の小さな企業を転々としていましたが、結婚もし、子供も生まれ、そろそろ骨をうすめられるような企業に就職したいと願っていました。

そして、芝公園のそばにあった芝園橋(しばそのば)の職安(公共職業安定所)・現在の厚生労働省ハローワーク)の職員に希望を話し、職安通いを始めます。するとある日その職員から「いい会社見付かりましたよ。この会社、いまは小さいけれど伸(のび)しろ充分将来性のある企業として推薦(すいせん)します。新橋と浜松町との中間にある日本赤十字社の右斜(なな)め前で少し歩きますが行って見ますか」と。

私は母校のことを話し、この辺の地理には明るく、日赤の場所も知っていたと言を告(つ)げ早速、訪問するのことにします。

「電話してきますから」の声を背(か)に、新橋へ迎(むか)います。様(さま)衣(ぎ)がわりした駅前やその周辺を眺(なが)めながら、普通(かみ)った通学路をぶらぶらとたどる日赤を目指し

ていると、見たことのあるような建物が目に入ります。標札(ひょうさ)を見ると桜川小学校とあり、そうです永年通学した分校です。

この学校の屋上から新橋駅前のマーケットの火事を見て、5、6人で学校を飛び出し、火事見物戻(かえ)ると玄関の前で先生方が仁王立(にわだて)におたじち、こつこつ油(あぶら)をしぼられた懐(なつか)しい玄関、門(かど)がしまっていたのでその間(ま)からなかを覗(のぞ)いてみると隣の運送屋(うんそう)から出てきた男(おとこ)が「なにしてるんですかと声をかけてきます。振り返ると、しばらく私(わたし)を見て「なんだ前田(前)だろ、こんな処(ところ)でなにしてるんだ」なんと港工の同期生(どうきせい)。おおい冗談(じょうだん)じゃあねえよ、目指(めざ)す会社(かいしゃ)は目の前(まへ)。訳(わけ)を話(はな)すと「なんだ面接(めんせつ)に来たのか、この会社(かいしゃ)いい会社(かいしゃ)だぞ、俺(おれ)社長(しゃちょう)知(し)ってるから口(くち)きいたろか」と。それを断(ことわ)りビルの扉(かど)をあけ、受付(うけつけ)の女性(にょせい)に「面接(めんせつ)に来た(き)話を(はな)すと、「どうぞこちらに」と暗(く)い、狭(せま)い、急(いそ)な階段(かいてん)を3階(かい)の総務部(そうむぶ)に。

引き継(つ)ぎを受けた総務部(そうむぶ)の女性(にょせい)は「何(なん)のうか)が(か)つてお(お)りますので」と2階(かい)の社長室(しゃちょうしつ)の隣(となり)にある応接室(おうせつしつ)に案内(あんい)されます。すると社長秘書(しゃちょうひしょ)と思われる女性(にょせい)がコピー機(コピー)を入れてくれます。それが本物(ほんぶつ)「コピー

豆(まめ)を挽(ひ)いた)の「コピー」。

今(いま)迄(まで)、職安(しやくあん)等(とう)から紹介(かいけい)された企業(けい)に面接(めんせつ)に行(い)きましたが、お茶(ちや)も出(で)してくれない面接先(めんせつせん)が何軒(なんけん)もあり、面接場所(めんせつばしょ)も事務室(じむしつ)の片隅(かたぐも)か、ひどい所(ところ)では工場内(こうじょううち)の机(こ)に向(む)い合(あ)った面接(めんせつ)がありました。

入社(にゅうしゃ)し、ときがたち、その秘書(ひしょ)と親(おんなじ)しくな(な)って「あの時(とき)の「コピー」うまくいった」という「あたり前(あたりまへ)よ、私(わたし)「コピー」のマイスター(マイスター)の資格(しき)が高い専門技(せんもんぎ)術(じゆつ)を持った人(ひと)。ドイツ語(ドイツご)で名人(めいじん)・巨匠(こけい)を指(さ)す言葉(ことば)を持ってんの。うちの会社(かいしゃ)にいないタイプ(タイプ)の格好(かっこう)かっこいいのが来た(きた)のでサーブ(serve)したの。それに「ブラック(ブラック)ミルク(ミルク)もサトウ(サトウ)も入(い)れない)で味(あじ)わ(わ)って(て)くれたの貴方(あなた)「あなた)が初(はじめて)めてー!」そりゃあ「ほんまもん」出(で)されりゃあブラック(ブラック)で飲む(のむ)のが礼儀(れいぎ)やろ」顔(かほ)を見合(あ)わせ二人(ふたり)で大(お)笑い(わらい)しました。

感激(きんげき)し、「コピー」の香(か)りと、味(あじ)を楽し(たの)んで「お待(まち)たせ(した)いました」と総務課長代理(そうむくさちょうだいに)の方が「じつは経理課長(けいりかちょう)が辞(や)めることになり、今(いま)迄(まで)何(なん)人も候補者(こうほしや)が入(い)社(しゃ)したのですが、引き継(つ)ぎがどうゆうわけ(わけ)かうまく出来(こ)ない困(こ)っています」「なにか「わけあり」ですね」「ええ・・・まあ」

私は母校(まがは)が工業学校(こうぎょうがく)にもかか

わらず大学の専攻(せんこう)せん(せん)は、なんにでも漬(つけ)び)しがきく政経(せいけい)学部(がくぶ)経済科(けいざい)科(か)にも会計学(かいけいがく)などがあり、わからないことがあると、例えば貸方(かしかた)「借方(かりかた)「かた)や貸借対照表(たいしやくたいしやく)ひょう)・損益計算書(そんいせきけいさんしょ)などなど。幼馴(おきなな)「おきなな)「み)の先輩(せんぱい)が「会計事務所(かいけいじむしょ)を運(う)営(えい)してあり、よく聞(き)きに(に)行(い)きました。その内(うち)なんとなく仕事(しごと)を手伝(て)うようにな(な)ります。

最初は20名前後(なご)の従業員(じゆうぎやう)が居(い)る家内工業(かないこうぎょう)の工場(こうじょう)「教(おそ)「わ)りながらなんとかこなしている」と「お得意先(おとぎやくいせん)「たいいせき)が増(ぞう)えてきたので、バイト代(ぱいとだいに)払(はら)うからさ、3軒(さんけん)助(すけ)「すけ)てくれるかと先輩(せんぱい)私(わたし)も経理(けいり)・会計(かいけい)に興味(きょうみ)きょうみ)もあり、いま少し勉強(べんきやう)したいと思(おも)い引き受(う)けることにします。まず1軒目(いっけんめい)は時計業(とけいぎや)めがね屋(めがねや)さん(地元の先輩(せんぱい)「次に花屋(はなや)さん、それは港工(こうこう)の1年(いちねん)2期生(にきせい)先輩(せんぱい)の実家(じけ)なと。

私は昭和31年(1956)に大学(だいがく)を卒業(そつぎやく)しましたが、初任給(しよにんぎやう)は銀行員(ぎんぎやういん)で5,600円(えん)、公務員(こうむいん)は8,700円(えん)、ちなみに「アンパン12円(えん)タバコ(たばこ)「ピース」45円(えん)、カレーライス100円(えん)、電車初乗り(でんしゃしよ乗り)10円(えん)の時代(じだい)でした。当時(たうじ)、私のバイト収入(ぱいとしゆい)は

公務員の初任給を上回(つわまわ)っており取り敢(あ)えずこのままいってみようとなります。一流企業に就職した友人達は私の収入の半分程度でした。

そんな話をしながら私が経理事務所で行っていた仕事内容は、各企業(通常は10軒前後、私の場合はバイトなので5~6軒)を担当。それらの企業の事務処理の指導から決算(貸借対照表や損益計算書など)と税務申告書(国税・都税)の作成などを請負い、場合によっては資金繰りや銀行よりの借入アドバイスや借入に必要な財務諸表の作成、又希望があれば遣(つか)い込みの調査などもやっていたことを話します。「わかりました、そこでお給料ですがどの位ご希望ですか?」私は『御社(おんしゃ)では職安に3万円の(こ)提示(ていじ)でしたが、女房・子供もおりますので3万5千円を希望します。(1ドル350円の時代)ですが3ヶ月(試用期間)のヶ月(た)って使えないと思ったら「クビ」にしていたとしても結構ですから」わかりました。3万5千円出しましょう!」ええ...「びっくしてました。普通は課長代理ですから上司に相談してからとかなんとかいうかと思ったら速決。これは大きな企業でも

なかなか出来ない権限委譲(けんげんいじょう)業務上の目標を達成するため上司が権限の一部を部下に委ねること)が出事(い)ています。これは職安の職員がいついたように今は小さな会社でも将来すばらしい会社になると確信(し)昭和38年(1963)年6月29日入社することになります。昨年11月東京プリンスホテルで二日間にわたり開催された創立80周年記念パーティに招待され、功労者の一人として表彰されましたが、私が入社した時の資本金は160万円、現在は31億5千万円。株式も上場(じょうじょう)しました。

さて、皆様のほとんどが桜川分校は知らないと思います。それは、第3期卒業生が最後の在校生だからです。しかし、私にとっては忘れられない母校です。その場所は日本赤十字社が東京美術倶楽部のビルが愛宕警察署か、その3つの建物を知らないとわかりませんが、一応位置(いちおう)を書きます。

まず、日本赤十字社を中心に見ると、美術倶楽部は真正面、その裏が桜川分校、左斜(なな)め前が愛宕署、右斜め前が私が勤める勤務先。美術倶楽部が中心なら真正面に日赤、右に愛宕署、左に勤務先となります。

私と母校との接点は二男の入学式(に付き添(ぞ)いで33年振りに訪(おとず)れ、加藤先生や高橋先生などにお逢(あ)いしたことから始(は)まります。

入学式がすむとクラスごとにかね「PTA」の役員選(えら)び、私は母校OBということもあり早速(さっそく)副会長を仰(お)せ付(つ)かります。それから勤務先が近い(急げば5分、普通に歩いて10分)こともあり、度度(たびたび)母校に通(つ)つことになりました。なにせ33年振り、学校のことも知らなければならぬ、ましてPTAの役員などは生まれて初めて。

なにかと勉強しなければならず、加藤先生、高橋先生、両先生が不在のときは教頭や校長先生、また、顔見知りの先生方、そして昔教(おそ)わった体育の藤田先生や英語の六平先生など昼休み時間は毎日行っていたような気がします。先生方も面倒(めんどう)くさがらず相手をしていただきました。今では、考えられないことですが、職員室に勝手に入ったり、あいた椅子に腰掛け先生方と話をし、校内をうるちよろして後輩の子供たち「こいつ何もの」と白い目で見られるが文化祭などで各部屋をまわり、顔を売ると、その内、挨拶する

ようになりませう。
それがまた楽しい。なんと我が母校は、おおらかで、あたたかいことか。そんなことが、二代目会長を引き受けた理由かも知れませぬ!

母校が閉校(2004年)してから20数年が経過しています。そして「港工同窓会ニュース(以降新聞)」の味が変わってきています。それは閉校により母校からのニュース(情報源)がなくなったのもその一因(いちいん)です。
今後とも皆様方のご指導・ご支援のほど、お願い申し上げます。

お詫(わ)ひ

「港工同窓会ニュース」が大変遅れてしまい、誠に申し訳なく、深くお詫(わ)び致します。原因としては私の原稿の遅延にあります。齡(せい)のせいか以前のようにはすらすら書けません。そして、根気が続きませぬ。一行書いて考え、そして眠(ね)くなり、そして寝てしまつ(つ)の繰(くり)返し! 来年はがんばりますので、「ご容赦(ごようしゃ)のほど」。

前田 武男

『校歌制定の記』

港工同窓会副会長

港全8期M 海野 鑑一

おおよそ学園の創立要件の中に校章と校歌は存在するものであると思えます。しかし当校には校章あれど校歌なしの状態が長年続いておりました。

まず校章については、昭和23年には機械科の村田憲治先生のデザインで創立当初より準備され当校の記念誌等に制定経緯が詳記されています。一方、校歌については制定に関する記録は皆無です。

本校の開校は、昭和21年で高輪・麻布・渋谷の旧三校統合で都立高輪工業高等学校としてスタートし、昭和23年までは高輪工校の校歌が使われていました。二度目の校名変更は、昭和23年に都立港工業新制高等学校と改名され、更に同25年に都立港工業高等学校と三度目の校名変更があり、以来廃校まで続きます。

校章制定が昭和23年であることから起算すると校歌誕生の昭和31年までの8年間の長きに亘り校歌がない時代が続いていました。

さて、新教育制度でのスタートは戦後の荒廃の中に辛うじて全焼

を免(まぬ)かれた旧愛宕小学校校舎は、当時としては数少ないコンクリート造りとは申せ、余りにも狭小であり土地や工業学校としての諸設備の拡充など課題山積の時代にあつて校歌制定までは心ならずも後まわしとなり、早坂初代校長の内心では、きつと慚愧(じんけい)たるものがあつたのではないかと思量されます。

校歌制定には、かねてより歴代生徒会でも制定に向けて運動を展開しており全日制と定時制の合同生徒会においても学校側に働き掛けていたようですが、学校側の反応の鈍さが20周年記念誌に記述されています。

さて、思わしい進展のないままに昭和30年4月は、私達8期生の最終年度となり10期生を迎えての生徒会新役員選任の時期となり8Mから森瀬君を推せんし校歌制定を公約に頑張ってもらいました。

これらの経過の後に校歌制定への要望気運は学校側にやっと伝わり制定に向けて急ピッチに動き出しました。この年の5・6月にかけて歌詞の公募などを経て結果として作詞・大木惇夫、作曲・乗松明広の両一流作家により誕生するところとなりました。同年9月に

やっとの目を見た我が校の校歌は翌10月の学校祭において制定記念発表会が開催されました。実に8年がかりの難産でありました。

旧校舎の講堂にて大木・乗松両先生を迎えての発表式典では、両先生より各々のコンセプトも披露され愛宕山を背景とする自然や本校の理想など盛り込まれた作詞。

続いて作曲の解説では、小生の疑問であつた三拍子のリズムでした。通常三拍子はワルツ曲で有名なヨハン・シュトラウスの華麗な舞曲が想い起され校歌には不向きではないかと不思議に思っていました。やはり定石の二拍子ではないかと・・・

が、乗松先生の説明で三拍子でもいけるのかなと思ひ始め後日の歩行試技を経て納得し、固定観念とは進歩の障害かと反省。両先生の新しい発想と創作に大いなる敬意と感動を覚えた次第です。

さて話は飛びますが、全国高校野球のテレビ放送の折などに必ず出場校の校歌紹介がありますが三拍子曲は大変珍しく我が母校のユニークな校歌と比較してしまいますが、我が校と同じ作家の校歌に出合いますと思わずその学校を応援してしまつのは不思議なこと

す。

尚、この発表会には、寸前の10月1日付で早坂先生の退任があり出席されておりません。初代校長として多大な難題に対応してこられた最後の置きみやげともなっています。

かくして我等8期生は翌春に初の公式の場での校歌演奏の中に樂立方行きました。

—愛宕のみどりさわやかに—
は、今、母校の跡には、その縁(よすが)とする何ももななく、一つあるのは、校歌に残る詩と旋律のみである。

追記

今、愛宕神社は、創建四百二十年を記念して全山一大整備の最中です。令和7年春には完工予定の様子です。新装なった愛宕山を訪ねてみてはいかがでしょうか。気がつけば校歌を口ずさんでいるかも知れませぬ。

【港工校歌(歌詞一番)】

愛宕のみどりさわやかに
輝く港 わが学び舎
人の世の幸いのため
見よや 尊き火花ちらすを
のびやかにして誇りあるもの
ああ われら努めはげみて
探らばや 真理の海を

※校歌はホームページを参照下さい

『令和6年同窓会旅行記』

港工同窓会理事

港会30期M 清野 東彦

今年の同窓会慰安旅行は箱根湯本、宿泊は『伊東園ホテル箱根湯本』での集いとなりました。参加は、3M前田会長、6C佐々木氏、15M新谷氏、16M鍋谷氏、18A相川氏、19E1熱田氏、加藤氏、後援会の鈴木氏、そして私30M清野の9名。

私は東海道線と小田急線で箱根湯本駅まで行き、バスの時間が合わずタクシードも無く、ホテルの集合時間まで25分程あった為歩いて行きました。いつもの賑わう商店街を抜け、湯本橋と弥栄橋を渡り須雲川沿いを登って行きました。商店街はいつもより観光客は少ない様で、須雲川沿いの道に入ると殆ど居ませんでした。途中、数10メートル先を相川さんが歩いており、最後の急坂階段で合流して坂を息を切らして上りきり、なんとか集合時間に到着！

今回の伊東園ホテルは一部改装中で、建物の古さは否めないが、小綺麗にしており、外国人も居なく一泊ならまあいいかと言った感じ。伊東園の温泉は、大浴場、露天風呂、

サウナ等があり綺麗、アルカリ性単純泉で透明、効能は、運動機能障害婦人病リウマチ神経痛に効く。湯に入った印象は、最初は熱く辛いような感じだが、すぐにじんわりとした柔らかみが変わり、熱く無くなる様に思えた。

夜6時から夕食、バイキングで贅沢な料理では無いものの美味しく、つい食べ過ぎてしまい、お酒類も飲み放題はお得感ありました。食事の後は全員で大カラオケ大会。今回、会長が伊東園を選んだのは、カラオケルームが大小8つ程あり思う存分楽しめるのが理由のこと。

佐々木さんから始まり、皆それぞれ好きに歌い、昭和歌謡、演歌中心。会長の渋い歌声、マイペースな人、横文字を酔いしれて歌う人、裕次郎ばかり歌う人、鈴木さんの美声のごぶり、等々制限時間まで皆歌い切り、最後に校歌合唱して締め。この日のベスト賞は、新谷さんの「柳ヶ瀬ブルース」でした！普段なかなか褒めない様な会長が良かったと言っていたのはなるほどなと私もそう思いました。

朝食は8時から、同じくバイキング、お酒は無いが、やや満足でした。食事の後はみんなでホテル前にて記念写真。これにて解散。

チェックアウトまで急いで温泉、昨日と大浴場の男湯と女湯がチェンジ、もう少し浴中でゆっくりしたかったかな？ 解散の後、箱根湯本駅前をぶらつく人、強羅に行く人、熱海へ周る人、すぐに帰る人とバラバラ、私と熱田さん、加藤さんはバスとタクシードの時間が30分程待つので、駅まで歩くことにした。結局私は行き帰り歩きとなった。帰りの道は下り坂で少し楽。そして駅前で土産と駅弁を買い、行きと同じく小田急線と東海道線で帰宅となり、今回初参加の私としてはリースナブルでますます楽しく終了となりました。



清野理事



『令和6年 六郷祭に参加して』

港工同窓会理事

港全18期A 相川 浩

一瞬は一生涯、忘れられない青春を、をテーマに11月2日(土)第十九回六郷祭が行われました。今年も、生徒有志によるねぶたが迎えてくれます。

港工同窓会も昨年に引き続きブースを設置しました。

私は、午前中仕事のため、会場到着が十二時となりましたが、既会場は加藤、新谷、清野さんの三理事により、午前中より設営が整えられていました。感謝！

前田会長も来場されておりまして、まず、私が留守番をして、皆さんには食事に行ってもらいました。その後、熱田理事も到着。

松岡理事は、欠席とのこと。そのため、パソコンがなく名簿の閲覧確認ができないこととなり、同窓生が来場された場合の確認が心配となりました。

午後二時半までの短時間に、果たしてどれだけ同窓生が来場されるか懸念されます。

廊下では、六郷工科の生徒とご家族の方々が賑わっています。その中で目立ったのが、アジア系と

みられる外国人の生徒です。結構目につきます。そのうち、二人が、ブースに入ってこられました。上手に日本語を話されます。

展示を見て、港工の沿革に興味を持たれたようです。

都立高校では、外国人の特別入学生が設けられており、工業科では六郷工科高校が唯一だそうです。現在、13人が在籍しているようです。「日本の科学技術を学びたい」

「母国に帰って母国のために活躍したい」という工業高校ならではのニーズがあるようです。皆、努力家で成績もよい生徒が多いそうです。

続いて、教師と思われる方がお一人入ってこられました。お話を伺うと、教師ではなく、ICTの支援員ですとのこと。現在小学校から高校までの授業では、タブレット端末等を用いたデジタル教育が広く取り入れられていることが知られています。そうした環境の中で、教員等がスムーズに授業を行うための支援員として、その道の専門知識を持った方が配属されているのだそうです。我々の現役時代との違いを認識しました。

さて、同窓生では若い世代の方が、一々来場されました。ご自身では何期かはっきり覚えておられず、

名簿がないので確認もできませんでした。

お一人は、自動車科卒で、車の整備の仕事をしてこられたが、待遇がいまいちというところもあり、未経験ではあったものの、フオークリフトの整備に転職をされたそうです。「未経験にもかかわらず、前職を上回る待遇でよかったです。」と語っていました。展示については、卒業アルバムを確認され、日本初の超高層ビル、霞が関ビルが写っている70年代の空中写真を見て、会話が弾みました。

時間の経つのはあっという間で、片付けを済ませて校門を出たのは、四時過ぎ、来年はもっと多くの来場者を期待したいと思います。



返信ハガキからの近況・思い出(会員 令和6年度)

港全5期E2 加藤 一明
未だに、相いも変わらず、寝たきり・・・。欠席します。

港全6期P 佐々木 修一
6/8は先約と重なってしまい、どうしても出席できません。申し訳ありませんが、欠席させていただきます。会費は今月中に払込みます。

港全6期P 多田 裕美
いつも会報を送ってくたさりと、ありがとうございます。要介護老人になってしまい同窓会には出席出来ませんが、会報は楽しみに読ませていただいています。
代筆 妻 美子

港全6期C 土子 賢治
先日のNHKテレビで本校の後輩が日本ビクターでVHSテープの開発をしたことが放送されました。「本人は都立港工業高等学校の卒業で・・・」のナレーターを耳にし、感動しました。本校の誇りですね。会長さん、幹事さんの「苦労に感謝いたしておきます。」

港全7期A 石渡 勝美
6/8(土)出席します。

港全8期C 沢登 広三
最近(令和6年度)より町会長とシニアクラブ会長を兼務となり大忙しの毎日です。ボランティア活動と思っががんばっています。

港全9期E2 高橋 諄一
身体の關係で参加は出来ませんが賛助金は協力させていただきます。(幹事さまへのご迷惑です)

港全10期E2 佐藤 巨亮
お世話さまであります。還暦になった時から毎年クラス会を実施し、旧交を暖めて参りましたが、コロナ禍に会って暫らく中止しておりました。久しぶりに連絡のつく12名に往復ハガキを送りましたが、その結果は誠に残念なものでした。2名が鬼籍入り、7名がガン闘病中、リハビリ中他体調不良・・・、結局3名のみクラス会となりました。85歳とは、そう言うステーションのですかネエ・・・。かくいつ私も歩行困難になってしまいました。ガンバラナクッチャー

港全12期E2 鶴田 浩一
体調不良の為、欠席させて頂きま。

港全10期E2 西村 幸久
昨年1月末より今日迄いろいろ有りまして、今はその延長線上の施設に入っております。

港全13期E2 宇南山 光夫
毎号の前田会長の原稿を楽しく拝読しています。
まとまりませんが皆様方のご健康を願うばかりです。

港全13期E2 林 正雄
昭和36年3月に卒業し、入社した会社の上司と今もおつきあいをしています。

港全13期E2 林 正雄
高校出の若い私に人生を教えてくださいました。教師とありますが、その方が今や92才、しかしお元気そのもの。頭の力も衰えは感じられませんが、数回他の方も含めて旧交を温めています。健康寿命を保つことこそ大切なことだと思っています。

港全14期E1 星 恵三
5月にミニクラス会が新橋で開催され、出席しました。11名参加で風間から一杯飲んで大騒ぎしました。

港全14期A 嶋田 昌弘
昨年1月に杉江茂くんが、12月に高田邦夫くんが逝去しました。

港全14期C 遠藤 昭雄
お世話になっております。本人入院中で残念ですが欠席させていただきます。

港全15期E1 新谷 義男
今年の行事でコロナ後といえるか。コンサートとか催し物がいろいろ再開した。しかし油断は禁物。体に気をつけて理事会に出席したい。
遠藤 圭子

港全16期M 本道 敏男
日々、明るく楽しく、そして元気に頑張っています。幹事の方々のご努力、ありがとうございます。臨時号の発行を楽しみにしています。

港全17期A 伊東 潔

私は、第17期卒業Aコースの伊東ですが、2部卒業の私より2、3年年上の山田様の住まいが分かれれば有りがたいのですが、宜しくお願い申し上げます。とても優秀な方でした。私も大変お世話に成りました。宜しく。

港全17期A 原 国泰

病気のため歩行が困難となりまして、同級生の友人たちを自宅に招き、20年から4年振りに同窓会を行う予定です。今でも続く友人関係を築けていて幸せです。

娘代筆

港全18期M 佐々木 博光

前号(23号)の同窓会ニュースで、(全)14期A・鈴木雅司様の福島先生、(全)30期M・清野東彦様の植松先生の記述がありました。植松先生と福島先生はとも仲が良く、いつもお二人で行動されていたの思い出しました。私は全18期Mでしたから、植松先生はその後長くお勤めになられたんだなあと改めて思いを深くいたしました。

生前、植松先生のお宅(八王子)には、私が近くに住んでいたこともあり、よくおじゃまいたしました。先生は、人生について色々教えて

下さいました。今、私はおかげ様で大きな病気もせず、小学校でスクール・サポート・スタッフとして働いております。これも先生たちのおかげだと思っております。改めて植松先生、ありがとうございます。

港全18期A 相川 浩

6月12日に18Aのクラス会を銀座の泰明小学校の近くにある料理店で行いました。今年、我々は77才を迎えるので喜寿を祝う会として集いました。参加者は12名。

この歳となると皆、何らかの不調を抱える身となりながらも、久しぶりに顔を合わせた中で若返ったようです。利用した料理店には、同年輩の壮年が続々と入って来て、同じようなグループがいくつも集っていたようです。

卒業から60年近く経つと、在学中のことよりも最近何をしているかとの話題が多かったようです。次回は傘寿を祝う会として、皆元気に集おうと約束し、散会しました。

港全18期E1 白井 正治

同期の友人との連絡をとりたいたのですが、情報が分からなくて困っています。

港全18期A 鶴田 瑞雄

幹事様 いつも有難うございます。毎年の同窓会ニュースを楽しみにしています。

18期のメンバーはこの一年スー△・クラス会にて近況報告会を年3〜4回ペースで実施しています。昨年は集つてのクラス会も行いました。本年も予定されています。

港全18期E2 渡辺 秀三

固定電話は止めました。スマホだけにしました。

※番号は未掲載

港全19期M 岡村 武則

港工を昭和42年に卒業後、東洋現像所(現MAGICA)に就職し、本社から営業部門に所属し、日本アカデミー協会に加盟し、退職後7年間200本以上の公開映画を鑑賞しています。

週2日は新宿や有楽町の映画館に通っています。

映画によって他人のストーリーを疑似体験をすることで常に新しい思考を吸収し、また、その他の趣味とも合まって充実した余生(まだ早いかな?)を過ごしています。

同窓会の運営に係わる委員の皆様 の努力に感謝申し上げます。

港全19期E1 熱田 冬樹

この歳になって(75才ですが)同窓会の意義がやっとわかりました。前回会誌で前田会長が毎日一万歩を歩いている事が参考になりました。又、六郷工校の文化祭に行つて、港の文化が(図書館の引き継ぎ等)自分の学んだ学校が伝統があると云う事もしみじみ感じました。同窓会等は引継ぐ人(旗振り役)が居ないと、たえませず。前田会長始め本当にご苦労様です。今後もいつまでも同窓会をもり立てて下さい。私と同クラスの加藤理事はVery goodです。

港全19期E1 加藤 誠

港工同窓会・理事として、前田会長のご指導を受けて活動しています。特にホームページ管理、同窓会ニュース編集、六郷工科高校連絡などを担当しています。ホームページへ投稿された港工校歌音源(第24期C武江弘治氏)を聞くとき昔を思い出して涙が浮かび感謝しています。また、11月にクラス会を開催し、新橋のお店で参加者ら名で校歌を聞くなどして楽しく過ごしました。R77年に喜寿(77歳)を迎える後期高齢者ですが、会長や諸先輩方からのニュース記事等を読んで元気をもらって頑張りますよー!

港全 20期E1 小島 賢治
今年も港工同窓会ニュース
ありがとうございます。

港全 20期E1 萩原 義幸
賛助金は送付しました。

港全 20期E1 神山 恵一朗
いつもありがとうございます！

港全 20期E1 服部 博
役員の方々、いつもありがとうございます。
です。

港全 29期E1 宮川 正義
今後ともよろしくお願い申し上げます。
返信が遅くなりまして申し訳
ございません。

港全 36期A 篠崎 明
土・日が出勤のため欠席とさせて
頂きます。

港定7期M 小川 昭次
いつもいつもお世話様です。
残念ですが今回も欠席させていた
だきます。

港定 10期C 三堀 和夫
残念ながら定10期の同窓会は中
断しています。続行を検討してい
ます。

港定 11期E 広橋 恭一郎
前略 6/6(木までに原稿いただけ
れば、印刷して持参します。

港定 19期MA 細山 和夫
妻が亡くなり14年が経ちました。
僕も要介護5で娘に介護をうけ、
自宅でも余生をすごしています。
皆様も体を大事にしてすごして下
さい。

港定 37期E 小川 隆治
卒業から39年、あっとゆう間に過
ぎた39年でした。同級生はどうし
ているか。

港定 19期MA 桑原 敏幸
いつもご連絡いただき有り難うご
さいます。こちらは相変わらず多
忙な毎日を通っています。囲碁
は、囲碁学校へ週4日、保育園へ週
1回、高齢者施設へ月1〜2回の
囲碁指導です。囲碁学校では副校
長として運営にも加わっています。
社交ダンスは、ダンススタジオに
週2回、ダンスサークルに週2回
のレッスン受講です。ダンスサー
クルでは会長として活動をまとめ
ています。

6月8日総会は、元勤務先のOB
会があり欠席します。

返信ハガキからの近況・思い出
(特別会員 令和6年度)

5月22日、賛助金を振込みました。
代(電気)全 加藤 英子
すみません。返信がおそくなりま
した。所用のため欠席させていた
できます。久しぶりの開催楽しみ
ですね。皆様にごうそよろしくお
伝えください。

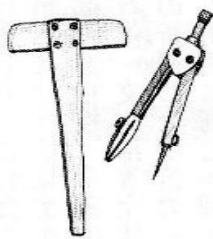
旧(自動車)全 大塚 健一
ご連絡が遅くなり申し訳ござい
ません。現在、飛行機好きの仲間と
H500のマイクロナイト航空機
を修理製作などで格納庫内で動き
まわっております。
完成までは半年以上かかりますが、
テストフライトが楽しみです。
総会、懇親会など盛会になります
ことを祈っております。



訃報(敬称略)

- 高輪 二本9期 富岡 光一
- 港全 4期E 奥田 良雄
- 港全 4期E 加藤 良男
- 港全 4期E 淡路 俣男
- 港全 11期E 栗山 高
- 港全 14期E 高田 邦夫
- 港全 14期E 杉江 茂
- 港全 30期M 中村 準吾
- 港定 10期E 森田 貞雄
- 港定 12期M 野口 英司

●ご冥福をお祈り申し上げます。



【事務局からお知らせ】

★返信される方は、返信ハガキに切手(85円)を貼って下さい★
郵便局の都合により、料金受取人払いが出来なくなりましたので、お手数ですが、切手の貼付をお願いします。

◎会則改定による賛助金のお願い

令和6年度の総会中止案内及び会報は、恩師及び賛助金納入者の一部(637名)に送付しました。賛助金は282名の方に送金戴き、前年比約7%の減少でした。

同窓会の収入は会員の賛助金・寄付金のみです。皆様のご理解をお願いします。

※郵便局のATM機を使えば、

- ①土曜・日曜・夜間も振込出来ます。
- ②同封の振込用紙をそのまま機械に挿入し金額のみ押せばOKです。

※金額の変更訂正可能です。

③窓口より待ち時間が早いです。

☆銀行口座振込みを受け付けます

銀行 三菱東京UFJ銀行

支店 433 新橋支店普通預金

口座番号 47534003

口座名義 港工同窓会

会長前田武男

※必ず名前の前に会員No.を記入して下さい。

出来れば振込連絡をお願いします。

◎卒業生への諸証明発行について

都立港工業高等学校の閉校に伴い卒業生への諸証明の発行事務は都立六郷工科高等学校において受け付けています。

〒144-8506

大田区東六郷2-1-18-2

京浜急行「雑色」下車

国道沿い徒歩3分

TEL 03(3737)6565

ご不明の点につきましては、

東京都教育庁高等学校課

TEL 03(53321)1111

へお問い合わせ下さい。



六郷工科高校・玄関
R7年六郷祭り



六郷工科高校・校舎

>同窓会の連絡先について<

住所変更の連絡、名簿内容の質問、同窓会ニュースへの寄稿、クラス会他近況等々は下記事務局又はHPへお願いします。

記

〒278-0051 千葉県野田市七光台158-5

港工同窓会 松岡信之(会計理事・港16期A)

TEL 080-1278-1584 FAX 04-7129-0916

E-mail: matsuoaka@minatokou.net

・ホームページ: www.minatokou.net

☆令和6年度の収支状況(案)

前期繰越額		733,261.-
収入の部		656,444.-
臨時会費		0.-
賛助金 282名	564,000.-	
寄付その他	92,444.-	
支出の部		547,717.-
総会費 0名	16,500.-	
通信費	194,240.-	
広報費	263,890.-	
文化祭費	4,686.-	
事務その他	68,401.-	
次期繰越額		841,988.-

◇編集後記◇

港工同窓会ニュース(令和7年度 第24号)の発刊・配送が大変遅れて、皆様にご心配をおかけして申し訳ございませんでした。

なお、本同窓会ニュース掲載記事はR6年度の内容ですので、読んでおかしいと思うことがあるかも知れませんがご承知おき下さい。

会員の皆様と六郷工高のご支援を得て、理事会開催(年10回)、旅行会(R7年は熱海旅行)など港工同窓会の活動を続けています。

定時総会は開催しませんでした。皆様からの返信はがきで、ご支援と現況を知らせていただき感謝申し上げます。

また、港工同窓会ホームページもシステム更新の関係で記事掲載等が遅れて申し訳ありませんが、皆様からの投稿を含めて適時記事掲載しますので、港工時代の想い出や現況、クラス会の開催案内などご活用下さい。港工同窓会ホームページでは、歴史や同窓会ニュース、定時総会等の動画や各種写真等をパソコンとスマホでも見れます。

投稿はホームページの「お問い合わせ」機能利用またはメール配信で受付ます。または原稿を事務局宛に送付下さい。(加藤誠)